

～『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

## ★小川晶（おがわあきら）前橋市長が前南にやってきた！★



8/17 土に前橋市のタウンミーティングがあり、そこに参加した生徒会のメンバーが『前南のSAHってご存じですか？』と小川晶市長に質問したところ、市長は『知らなかったです、すみません』と。そこに同席していた高女の生徒とともに『SAH』の説明をしたところ、大変興味をもっていただきました！そこで後ほど、本校の生徒会メンバーは『ぜひ前南に来てください！』とオファーをしたところ、本当に市長さんが本校にいらっしゃることになりました！

本来であれば、全校生徒と『タウンミーティング@前南』とし、小川晶市長と本校全校生徒でディスカッションみたいな企画もできればよかったのですが、時間的な制約もあり、まずは『SAH』の説明と本校生徒の活動報告をメインとすることになりました！一部の生徒としか交流していただくことができず、すみません！

しかも、この日の6限は生徒総会があり、生徒会のメンバーの半数が市長さんとのディスカッション、残りの半分は生徒総会の準備となりました。生徒会を半分に分けてもビッグイベント2つを同時進行させ、成功させてしまううちの生徒会はすごい！と思いました！

また、ちょうど前南 BOOK FES を運営している図書委員会の取組も発表しました！先日前橋市で大成功した前橋 BOOK FES にも本校の図書委員会は参加していますので、そんなアピールもできました！



市長さんの随行者として吉川真由美前橋市教育長をはじめ、前橋市教育委員会のみなさんにもお越しいただきました！『SAH』は県教育委員会の指定事業であるので、平田郁美県教育長をはじめ、県教育委員会のみなさんにもお越しいただ

きました！総勢15名という『大人』を本校生徒会が動かしたのです！言い換えれば、総勢15名の大人が、本校生徒会の声に耳を傾け、行動していただいたのです！ありがたいことです！（文責：教頭 星野 亨）





「アイスを食べに来て欲しいです！」とタウンミーティングで小川市長に声をかけさせていただいたことをきっかけとして実際にお越しくださったことの喜びと感謝を改めて実感しています。当日は小川市長の若者の意見を多く取り入れたい！という気持ちが伝わり、私達も私達なりの意見を伝えさせていただきたい！と考えることができました。質疑応答の際も私たちの取組に対する客観的な意見を様々な方からいただけて私達はまた一步成長できたと感じます。生徒で運営をするということへの不安もありましたが頼もしい仲間たちのおかげで楽しく取り組むことができました。改めて、小川市長、市教育委員会の方々、県教育委員会の方々、前橋南高校にお越しくださり本当にありがとうございました！！とても貴重な経験となりました！  
腰高 紗依（生徒会長）

私達から小川市長に来て欲しいと声をかけたことがきっかけで今回お越しいただき、私達の口から前橋南高校の取組について紹介させていただくことができ、とても嬉しく、とても誇らしく感じました。特に私は司会という重要な役割を担当させていただいたので、誇らしく思うところもありますが、平田県教育長様や教頭先生などに助けていただく場面も多く、まだまだ至らぬ点を実感しました。前南の取組に対する様々な意見も聞くことができ、私自身の、私達生徒会の、ひいては前南の成長に繋がる貴重な機会となったと思います。今回のために忙しいなかお越しくださった皆様、開催にあたって尽力してくださった皆様には感謝しかありません。  
堀川 凜（監査）

市長さんが私たちの誘いに応じてくれ、本当に前南に来てくださったことが何よりの喜びで当日はとても浮かれてしまいました。交流の時間ではいろんな疑問点や意見などを尋ねられ、自分の考えをまとめ、言葉にして伝えたいつもりでした。しかし、あとからもっと上手く話せたんじゃないか、こんな考えも伝えられたら良かったんじゃないかと様々な思いが募り、悔しさの残る結果となりました。この悔しさをバネにこれからも成長し続け、最強で最高の自分になろうと強く思いました。  
小此木 いろは（副会長）

今回は、大変貴重な体験をさせていただき、嬉しく思います。準備では、放課後や、朝早くから集まり、みんなで練習し、万全に整えました！本番は、緊張感が走るなか、私たちが、やり通すことができました。今回の先輩方の楽しんでいる様子、笑顔を見て、私も緊張を超える楽しみを持ちたい！と新たな目標を発見することができました。  
松井 姫奈（常任委員）

今回は普段、なかなか体験のできないような貴重な体験をすることができて、光栄に思いました。来賓の方々をご案内するという大事な役を任せられ、緊張しましたが何とか役を果たせることができました。その他にも先輩方の楽しみながらハキハキと質問を返している姿が頼もしく、その姿に少しでも近づけるよう邁進して参りたいです。  
岡野 夢大（書記）

OECD の時は先輩の姿を見ているだけでしたが、今回は私の口から前南の魅力を伝えることができ、嬉しかったです。交流の時間に話が振られた時には驚きましたが、自分の考えることを聞いていただけることが何より嬉しく意見を伝えることの大切さを改めて実感しました。先輩のように意見をバシバシ伝えられるようなカッコいい生徒会になりたいです！  
新井 稀唯（監査）

今回の市長さんへのプレゼンを通して、たくさんの学びや発見を得ることができ、これからの日常生活に活かせると感じました。私は今回図書委員会の代表として発表しましたが、生徒会の発表もとても素晴らしかったです。どちらの発表にも市長さんを含め様々な方からアドバイスや感想をいただきましたが、生徒達だけではわからない、大人ならではの視点で、参考になる話がとても多かったです。特に市政や、市の教育委員会を仕切るという仕事をする方の意見は大変貴重で、私たちでも知らなかった市の小、中学生の教育の悩みについての話も聞きました。これらの話を参考にしながら、これからの図書委員活動を今よりも活発にしていきたいと思いました。  
森川 心晴（図書委員）

市長さんの学校訪問に図書委員会の代表として参加させていただきました。緊張で上手く話すことができなかつたけれど、市長さんや市の教育長さんが優しい目で自分の話を聞いていただけて、普段から地道に、1人でも多くの生徒に本を手にとってもらえるように行っている図書委員会の取組が伝えられたことがとても嬉しかったです。この機会を活かして、今後の図書委員会の活動にも取り組んでいきたいです。  
関口 睦（図書委員）

★校長より★ まずは、本校生徒の「前南に来てください」という呼びかけに答えて、ご来校いただいた小川市長をはじめ前橋市の皆様に感謝します。今回の視察についてはたくさんのことに驚かされました。生徒が小川前橋市長に「来校してください」と呼びかけたこと、小川市長がその呼びかけに答えてくださったこと、生徒会役員が小川市長の来校を踏まえ柔軟に発表を工夫してくれたこと、図書委員が初めての発表にも関わらず臨機応変の対応も含めとても良い発表をしてくれたことなどです。今回、生徒の主体的な活動に多くの方が応えてくださいました。また、生徒同士でも他の人の活動を見て、「自分もあの人のようになりたい。」「自分も頑張ろう」というお互いを高め合う連鎖が起こりました。周囲を良い方向に向けていく活動だと感じました。  
校長 原 拓史